

■シリーズ■ 中学校武道

授業の充実に向けて 97

複数種目授業の実践報告と課題 ⑪（剣道・柔道）

燕市立燕中学校 教諭 堀田 秀浩

新潟県の中央部に位置する燕市は、平成18年に燕市、吉田町、分水町の旧3市町が合併して誕生しました。この旧3市町は県内でも古くから武道の盛んな地域で、とりわけ各学校の剣道、空手、柔道部などが全国規模の大会に出場し、活躍をしています。全盛期には、剣道部員数が100人を超えたという学校もありました。

そんな土地柄のお陰で、武道必修化になる以前の昭和の時代から、柔道と剣道の両方を授業で取り組む学校がほとんどでした。武道の授業をすることが当たり前といった状況の中で、武道必修化の流れを違和感なく迎えられたと思います。

本校では、現在は剣道と柔道を選択しての武道授業を実践しています。その現状をご紹介します。

1 燕中学校の選択武道授業の流れ

燕中学校は、全校生徒数593名、20学級の、新潟県内では7番目の大規模校です。体育授業は男女合同で同学年3クラスの約100人が同時に行います。3クラス合同なので指導教諭は3名が担当します。体育授業は場所の制約もあり、実施する種目によって3クラス全員が同じ種目に取り組む場合や、2〜3種目を男女別、クラス別など

でわけて実施する場合があります（資料1）。その中で武道授業は、生徒の希望で柔道か剣道を選択して3年間同じ種目に取り組む方式をとっています。進級してクラス替えがあっても武道の時間は希望した種目に参加することになります。

選択方法ですが、1年生の2学期に剣道と柔道それぞれの特性や授業内容、必要経費などを説明して、各生徒が選択します。個人負担による購入物品は剣道が竹刀、手袋、面下、柔道が柔道着になります。学校では、剣道防具約50

組、柔道畳10枚程度を学校備品として準備しています。例年、生徒が選択する剣道・柔道の割合は、剣道4割、柔道6割の状況が続いており、柔道を選択する生徒が多いようです（資料2）。

ら剣道の授業指導がしやすいようになっています。

実際の授業の様子ですが、剣道は剣道場で、柔道は体育館に畳を敷いての同時進行になります。3人の教師のうち、剣道の指導が得意な教師1名が剣道を担当し、残りの2名が安全確保のために柔道を担当します。それぞれの生徒の能力に合わせ基本から指導していくことになりませんが、生徒は興味のある種目を選択していますので授業への興味関心は高く、楽しみながら授業に参加しています。

剣道授業に関して言えば、3年間継続して剣道を取り組むと、3年時には初段程度の腕前に達する生徒がいるほどです。また剣道の盛んな地域なので剣道を既に習っていた生徒が多く、授業としては応じ技や連続打ちなど高度な内容にも積極的に挑戦します。一方、初めて剣道を体験する1年生の授業では、防具のひもの着脱が困難をとられます。そのために剣道部員などによる指導補助体制の確立や、縛りやすいような防具の工夫

県内各校の武道の実施状況をみると柔道を選択している学校が多いようです。体育教諭のなかでは「柔道は危険をとまなうが教えやすい」「剣道は安全であるが指導が難しく防具や竹刀のメンテナンスの手間がかかる」という印象が強いのではないかと思います。幸い本校では剣道を専門種目とする教諭と柔道を専門とする教諭の勤務が長く続き、両種目を同時に実施しやすい状況にあります。剣道に関しては、専門教諭が在任中に簡単な剣道の指導用ビデオを数本作成しておき、剣道専門以外の教諭でもビデオを使いなが

が考えられます。

武道の授業は生徒たちにとって是非日常的な種目だと思っています。普段経験できない技での他者に対する攻撃、他者との1対1の対決などが主要技術になるからです。現在、学校現場で厳しく禁じられる他者への攻撃が技として認められ、褒められる行為に転じるわけです。サッカー、バスケットなどのみんなが楽しめる球技とは違う魅力を発信する必要があります。身体接触が主の格闘色の強い柔道と、竹刀という武道具の使用による攻防の剣道というそれぞれ独自の魅力を、生徒自身が選択して取り組めるという授業展開は好ましい実施方法だと思います。

生徒は、授業で柔道の受け身、剣道の素振りなどの基本動作にはなかなか興味を示しません。むしろ「足が冷たい」「受け身は痛い」などマイナス要素を抱えていきます。反面、自由に格闘や打ち合っっていくような剣道の互角稽古、柔道の固め技だけの簡易試合などは、とても楽しみながら取り組みます。

授業の中身も基本動作と簡易試合のような内容の両方を学習段階に応じてバランス良くおりませ、生徒の興味がわく内容にして武道の魅力を体験させていくことが大切です。また両種目とも当然ながら他者への礼法を重んじるわけですが、この礼法が生徒にとって、面倒で忘れがちなことと感じるようです。礼法では常に時間をかけて指導していきます。日常生活に活かせるような礼法になればと思います。

これらのことを踏まえながら、用具の着脱、基本動作、基本技、応用技、簡易試合と学年の能力に応じて進めていきます。3年時には柔道や剣道の団体戦などの試合を行うと生徒たちは喜んで取り組みます。

3 今後の課題

新潟県内では、武道必修化にかかわらず武道を実施してきた学校

が多く、武道必修化に困ることも
慌てることもない学校が多いと思
います。

そんな県内の中学校で武道授業
として柔道・剣道の両方を実施し
ていくことの課題は、次のような
ことが考えられます。

①実施時期の問題

新潟は雪が降るため冬期間はグ
ラウンドが使えません。冬が来る
前に外の種目を修了する学校がほ
とんどです。そのため武道の実施
時期は冬に集中します。裸足で行
う武道は「寒い」「痛い」といつ
たイメージが付きまといます。改
善策としては暖房機器の有効活用
が考えられますが、解決は難しい
のが現状です。

②用具の管理や工夫

剣道授業において竹刀や防具は
消耗品です。破損した場合の修理
は経済的な問題が発生します。カ
ーボン竹刀など破損にくい竹刀
を学校備品で購入できれば、竹刀
の安全管理の手間は激減します。
防具に関しては、破損の修理や衛

生面で大切な防具のクリーニング
など、生徒が気持ちよく剣道に取
り組める準備が大切です。どれも
一昔前では出来なかった技術です
が、実施するには経済的な問題が
発生します。

柔道では、柔道着を学校備品と
している場合は、その衛生管理の
ために毎年のクリーニングが欠か
せませんが、自分の柔道着として
購入すればこの問題はなくなりま
す。また、投げられても痛くない
畳など以前より柔らかい畳ができ
ており、それらの痛み軽減策も生
徒の興味を高める工夫のひとつだ
と思います。

いずれにしても、武道がもつマ
イナス面である「痛い」「くさい」
などは以前にくらべてかなり減ら
せる状況になっていますが、その
ためには予算措置が必要となりま
す。

③武道場の有無

柔道授業においては、柔道場が
ない場合、授業ごとに畳を出し入
れることによる授業時間の減少
が問題になります。また体育館に

畳を敷いて滑り止めをつけても、
運動によって畳がずれることを防
ぐことはやはり難しいようです。

畳が備え付けの道場や剣道専用
の道場がある中学校は、やはり少
数でしょう。武道を道場で取り組
むということは、武道の魅力を伝
えるための大切な要因かと思いま
す。道場に入るとき、出るとき
「一礼」などはそのひとつかと思
います。

④剣道授業を指導できる体育教師
の育成

剣道指導は苦手だという体育教
師の方が多いと思います。そんな
体育教師が積極的に剣道を指導で
きるように、講習会が多数開催さ
れることや、授業用剣道指導ビデ
オの開発などが期待されます。

4

おわりに

燕市では、武道必修化の中でも
以前と変わらず、武道授業に取り

組んでいると思います。特に教育
委員会からは武道必修化の際に、
用具購入をしっかりと支援して頂
き、今まで以上に授業がやりやす
くなったと感じています。道具だ
けでなく、体育教師は柔道でも剣
道でも外部指導者に頼らず授業が
できないといけません。安全面
においても武道を専門に学んでい
る外部指導者に力を借りることも
大切だと思います。最終的には教
師自身の武道の指導力を高めるこ
とが必要だと感じています。

日本古来の武道の魅力は、その
考え方、技術そして礼法すべてが
日常生活の中で活かせ、自分を高
め相手を重んじることにありま
す。

まさに現代の教育現場に必要な
内容が詰まっている「教材」なの
です。「武道は世界を救う」――
そんな気持ちで授業ができる指導
者が増えれば嬉しい限りです。

資料 1 単元一覧表

学 年	学 期	1 学 期（ 3 9 時 間 ）												2 学 期（ 4 2 時 間 ）												3学期(24時間)					領域の授業 時間数																					
		4月			5月			6月			7月			8・9月			10月			11月			12月			1月		2月		3月																						
第 1 学 年	1 週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	A体つくり8 B陸上競技18 C器械運動12 D球技34 バスケット12 バレー6 サッカー10 E武道（柔道剣道）10 Fダンス6 G体育理論4 H保健分野11															
	2 週	陸上競技12												陸上競技3	ダンス6 器械体操12												武道10 （剣道・柔道選択）	バスケット6												バスケット6 バドミントン10												
		体づくり運動8									バレー6 サッカー6																																									
第 2 学 年	1 週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	A体つくり8 B陸上競技15 C器械運動9 D球技34 バスケット12 バレー6 サッカー6 E武道（柔道剣道）10 Fダンス6 G体育理論4 H保健分野19															
	2 週	陸上競技10												陸上競技2	ダンス6 器械体操9												武道10 （剣道・柔道選択）	バスケット6												バスケット6 バドミントン10												
		体づくり運動8									バレー6 サッカー6																																									
第 3 学 年	1 週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	A体つくり8 B陸上競技16 C器械運動9 D球技34 バスケット12 バレー6 サッカー10 ソフトボール6 E武道（柔道剣道）10 Fダンス6 G体育理論4 H保健分野18															
	2 週	陸上競技11												陸上競技2	ダンス6 器械体操9												武道10 （剣道・柔道選択）	バスケット6												バスケット6 バドミントン10												
		体づくり運動8									バレー6 サッカー6																																									
第 3 学 年	3 週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	E武道（柔道剣道）10 Fダンス6 G体育理論4 H保健分野18															
	2 週	陸上競技11												陸上競技2	ダンス6 器械体操9												武道10 （剣道・柔道選択）	バスケット6												バスケット6 バドミントン10												
		体づくり運動8									バレー6 サッカー6																																									
第 3 学 年	3 週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	E武道（柔道剣道）10 Fダンス6 G体育理論4 H保健分野18															
	2 週	陸上競技11												陸上競技2	ダンス6 器械体操9												武道10 （剣道・柔道選択）	バスケット6												バスケット6 バドミントン10												
		体づくり運動8									バレー6 サッカー6																																									
第 3 学 年	3 週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	E武道（柔道剣道）10 Fダンス6 G体育理論4 H保健分野18															
	2 週	陸上競技11												陸上競技2	ダンス6 器械体操9												武道10 （剣道・柔道選択）	バスケット6												バスケット6 バドミントン10												
		体づくり運動8									バレー6 サッカー6																																									
第 3 学 年	3 週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	E武道（柔道剣道）10 Fダンス6 G体育理論4 H保健分野18															
	2 週	陸上競技11												陸上競技2	ダンス6 器械体操9												武道10 （剣道・柔道選択）	バスケット6												バスケット6 バドミントン10												
		体づくり運動8									バレー6 サッカー6																																									
第 3 学 年	3 週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	E武道（柔道剣道）10 Fダンス6 G体育理論4 H保健分野18															
	2 週	陸上競技11												陸上競技2	ダンス6 器械体操9												武道10 （剣道・柔道選択）	バスケット6												バスケット6 バドミントン10												
		体づくり運動8									バレー6 サッカー6																																									

○3学期制で設定し、1学期を39時間(13週×1週3時間)、2・3学期を66時間(22週×1週3時間)とし、合計105時間とした。
○保健分野については、第1学年は11時間、第2学年は19時間、第3学年は18時間の年間時数配当とした。
○内容によって養護教諭が授業を行う
○体つくり運動は、1学年10時間、第2学年は7時間、第3学年は8時間とした。
○体育理論は、全学年4時間とした。
※水泳はルールがないため行わない。

資料2 武道（柔道・剣道）選択希望調査

日頃より燕中学校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。
さて、本校では保健体育の武道において、生徒自身の特性や興味関心から、柔道と剣道のどちらかを
選択して授業を実施いたします。
それに伴い授業に必要な用具を購入していただくことになりますので、1年生は下表を参考にしてく
ださい。また、2、3年生で新しく購入したい場合も受け付けますので、希望用紙に記入し提出してく
ださい。また、3年間同じ種目を行うことを原則としますのでご了解ください。

種目	主な学習内容	活動場所	必要用具	価格
柔道	礼法・基本動作（各種受け身）・投げ技 固め技・連絡技・試合など	本校体育館	柔道着	3,400 円
剣道	礼法・基本動作（素振り、足さばき） 地稽古・基本打突・応じ技・試合など	本校剣道場	セット	2,900 円
単品購入の場合 竹刀…2,000 円 竹頭巾（面下）…500 円 手袋（小手下）…400 円				
※必要用品については、兄弟姉妹が使用していた物や家庭にある場合は購入する必要はありません。 ※学校以外の販売店で購入していただいてもかまいません。 ※購入希望者には後日集金袋を配ります。10月中旬に業者が来校し学校で販売しますので、日時が正式に決まりし だいお知らせします。				

キリトリ

武道選択希望用紙

1 種目選択

柔道 ・ 剣道 （どちらか希望する方に○を付ける）

選択した理由

2 用具購入希望調査（幹旋）

柔道希望者→ 学校で購入したい 学校では購入しない （どちらか希望する方に○を付ける）
↓
希望サイズに○を付けてください（成長を考え大きめのサイズの物をお勧めします。）
2号（150～160cm） 3号（160～170cm） 4号（170～180cm） 5号（180～190cm）

剣道希望者→ 学校で購入したい 学校では購入しない （どちらか希望する方に○を付ける）
↓
希望の物に○を付けてください（初めて買う人はセットで申し込んでください。）
セット 竹刀のみ 頭巾（面下） 手袋（小手下）

年 組 番 氏名 保護者氏名 印

●四六判・176頁・2色刷
定価＝本体1,500円＋税

スポーツ 脳振盪

のう しん とう

ほんとうに
危ない

誤解していませんか？
脳振盪はとても危険です！

谷 諭 [著]

ほんとうの症状や危険性を医者でさえ
よく理解していない場合があるという
脳振盪。いったんわずらってしまうと
生命や人生に大きな影響がおよぶ。
近年、プロスポーツの世界でも、
正しい対処法を確立すべきだとい
う機運が高まっている。
本書では、現場で役立つ実践
的な対処法や予防方法などを
解説する。

様々なスポーツの現場で
脳振盪は起きている！

スポーツ脳振盪は、生命や人生に
大きな影響を与える大変危険なスポーツ事故。
スポーツの現場で役立つ実践的な脳振盪の対処法、
予防法なども徹底スポーツ医学の第一人者が伝授します。

大修館書店

〒113-8541 東京都文京区湯島2-1-1 ☎03-3868-2651（販売部） <http://www.taishukan.co.jp>



●A5判・306頁
定価＝本体2,300円＋税

一人ひとりの生徒が
輝く運動部活動を
実現する

運動部活動の 理論と実践

友添秀則〈編著〉

運動部活動は全国のほとんどの
学校で取り組み、学校生活に
彩りを添える教育活動である。
一方で、体罰・暴力、勝利至上主
義、顧問教師の過重労働などが
問題視されている。本書は、多く
の問題を抱える運動部活動を改
善し、その意義を実現するため
に、部活の歴史やあるべき姿か
ら、実務的な知識や科学的な指
導法まで網羅した、これからの
部活指導に必読の書である。大
学テキストにも最適の内容。

【主要目次】1. めざすべき運動部活
動像／2. 運動部活動の歴史／3. 運
動部活動と安全、事故対応／4. 運動
部活動の指導に活かすスポーツ医科
学／5. 運動部活動を豊かにするマネ
ジメント／6. 運動部活動の実際